

私たちの窓は、いつもみなさまに開かれています



2022年
5月1日発行
No.503

May
5

特集

症状からわかる こどもの病気(怪我)^{け が} P-1 —小児脳神経外科が扱う疾患—

- インフォメーション P-4
- 診療科・センター紹介 小児脳神経外科 P-5
- 診療を支えるスペシャリスト
医療ソーシャルワーカー(MSW) P-6



未来に向けて共に歩む
聖隷浜松病院60周年



病院理念 私たちは利用して下さる方ひとりひとりのために最善を尽くすことに誇りをもつ



社会福祉法人 聖隷福祉事業団

総合病院 聖隷浜松病院

症状からわかること もの病気(怪我)^{け が}

—小児脳神経外科が扱う 疾患—

小児脳神経外科は、脳腫瘍、脊髄腫瘍、頭蓋骨・脳・脊髄の先天奇形(頭蓋骨縫合早期癒合症^{ゆこうしゅう}、キアリ奇形、二分脊椎など)、水頭症、くも膜嚢胞^{のうほう}、頭部外傷、もやもや病などさまざまな病気(怪我)を扱っています。こども特有の成長発達を考慮することが重要なため、お子さん一人一人にあった治療方針を検討し、診療しています。

今回は、症状ごとにどのような疾患が隠れているかをみていきましょう。

① 頭のおおきさ、かたち

頭が大きい

脳にかかる圧力(頭蓋内圧)が高いと、頭が大きくなります。疾患には、脳腫瘍、ガレンの大静脈瘤、動静脈奇形など脳の血管の奇形、頻度が多い水頭症やくも膜嚢胞があります。



頭が小さい、もしくは形が悪い

頭蓋骨縫合早期癒合症という頭蓋骨が大きくなりません。一方で、頭の形が悪い場合のほとんどは、向き癖による変形のことが多く、病気ではありません。ヘルメットで矯正できる場合もあります。

② おしりの穴のやや頭側が凹んでいる、膨らんでいる

腰の神経の障害と関係していることがあり、その症状には、両下肢痛、腰痛、歩行の問題、足首の関節が固い、膀胱直腸障害(おしっこやうんちの問題)などがあります。代表的な疾患には、二分脊椎(脊髄髄膜瘤、脊髄脂肪腫など)、先天性皮膚洞などがあります。



③ 手足の動きが悪い、しびれる

もやもや病は、血管が病的に細くなり、脳に血液がまわらなくなることで手足の力が抜けたり、しびれたりすることがあります。特に、運動中やラーメンなどに「フーフー」と息をはくときに起こりやすいと言われています。症状は一時的なことが多いですが、脳梗塞や脳出血になることがあります。



こどもが頭をぶつけた！ どんなときに病院を受診したらいいの？（受診の目安）

- 2歳以上なら1.5m（2歳未満なら0.9m）以上から転落したなど、重症な頭部外傷があるとき
- なんとなくいつもと違う意識状態（ボーっとしている）、意識消失、嘔吐などがあるとき

※受傷後6時間以内に何らかの症状が出現することがあります。24時間経過観察して、普段とかわりがなければ受診の必要性は低いです。

文責：小児脳神経外科 部長 中戸川 裕一

さらに詳しい情報などを、YouTubeの“聖隷浜松病院チャンネル”で配信しています。ぜひ、ご覧ください。

YouTube 聖隷浜松

検索



インフォメーション

当院では治験に参加してくださる方を募集しています

治験とは、国が承認する前の「新しいくすりの候補」の有効性（効果があるか）や安全性（副作用の問題はないか）を調べる臨床試験のことです。

募集中の治験

診療科	疾患名(症状)
膠原病リウマチ内科	全身性エリテマトーデス
眼科	加齢黄斑変性
呼吸器内科	肺MAC症
神経内科	自己免疫性脳炎
腎臓内科	非糖尿病性慢性腎臓病

2022年5月1日現在

★ 治験では参加基準や参加予定人数に限りがあり、参加基準に合わなかったり、募集期間内であっても予定人数に達した場合は治験に参加いただけないことがあります。

★ 当院では、健康の方向けの治験は実施していません。

問い合わせ

TEL 053-474-1264

（臨床研究管理センター直通／月～金曜日9:00～17:00）

◆ 今月の色：新緑、若葉

やさしい光とそよ風に
そっと押される車イス
一心なしに車イスが軽く感じられるかも
思い切って新緑の中に出てみては…

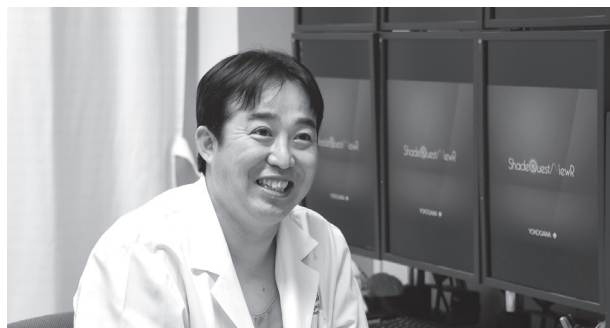


新任 医師紹介



大腸肛門科
サトウ スミト
佐藤 純人
浜松医科大学
(2003年卒)
※4月着任

小児脳神経外科



あたまの手術を受ける こどもたちの未来に向けて

小児脳神経外科は主にこどもの頭蓋骨、脳、脊髄の病気や怪我の手術を担当しています。近年、治療成績の向上によって小児期での死亡率は低下していますが、小児期だけでなく大人になっても受診や手術が必要な場合が増えています。総合病院である当院では、小児期から大人まで継続して診療を受けていただくことができます。こどもは成長・発達していくため、適切な時期に適切な手術を行うことが重要で、また、手術以外の化学療法や放射線治療が必要な場合には、小児科をはじめとする他科と協力して集学的に治療しています。手術を受けたこどもたちが将来大人になって、社会で活躍することを願って日々診療しています。

文責：小児脳神経外科 部長 中戸川 裕一(写真)

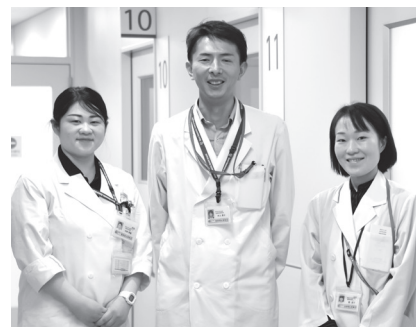


医療ソーシャル ワーカー(MSW)

安心して治療に のぞむために サポート



病院を利用される方の多くが医療費や退院後の生活、就学、就労などにさまざまな不安を抱かれます。なかでも小児脳神経外科をはじめとするこどもの病気ではお子さん自身、こども園や学校での生活に不安を抱きます。また、ご両親もお子さんの意思に沿う治療法の選択や、長期にわたる療養生活などに大きな不安を抱かれます。私たちMSWは、そのお悩みの解決をお手伝いする医療・福祉のコーディネーターです。医療費助成や各種の社会資源、福祉制度手続きをご案内するなど、長い療養生活を通じ



て適切な支援を受けていただけるように多職種で医療機関や行政・学校等と連携しながら支援しています。

文責：医療福祉相談室 井上 景介(写真中央)・和久田 晴久



聖隷浜松病院からのお知らせ

初診の方へ

紹介状をお持ちください

紹介状及び予約が必要な診療科(紹介予約制)がありますので、事前にご確認ください。なお、当院を受診される際に、他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合は、初診に係る選定療養費として5,500円(税込)を別途負担いただいています。原則としてかかりつけ医からご予約をお取りいただくようお願いいたします。患者さんから予約する場合は診療科・担当医をご確認のうえ、下記までご連絡ください。

▶ 地域医療連絡室(JUNC) ☎053-474-8801

(月～金曜 9:00～17:00、土曜 9:00～12:00/祝日を除く)

再診の方へ

予約変更のご案内

予約変更は、適切な診療提供に支障をきたすおそれがあります。やむを得ず予約変更を希望する場合のみ、下記までご連絡ください。

- お手元に診察券・予約券等をご準備ください。
- 時間帯によってはお電話がつながりにくい場合があります。
- 変更の際は医師等に確認が必要なため、お時間や日数がかかります。

▶ 外来受付センター ☎053-474-0100 (月～金曜 9:00～16:45)

産科の受診をお考えの方へ

妊娠検査薬等で妊娠が確認できれば、紹介状は不要です。受診希望日の7日～10日位前までに、下記までご連絡ください。

▶ 産科外来(直通) ☎053-474-3067

(月～金曜 14:00～16:45/祝日を除く)

面会の方へ

現在、面会に制限があります。詳しくはホームページをご確認ください。

面会時間…月～金曜 14:00～20:00、土曜・日曜・祝日 10:00～20:00

- 院内感染予防の目的で、以下の症状がある方には、面会を遠慮いただいています。
発熱/咳・痰/原因不明の発疹/嘔吐・下痢

ご来院の方へ

駐車場の収容台数に限りがあり、大変混み合いますのでなるべく公共交通機関(電車・バス)をご利用ください。

医師との面談時間について(ご協力のお願い)

原則、平日(月～金曜)8:30～17:00です。

- 緊急の場合は、この限りではありません。
- 医師の都合(外来診療や手術の延長等)により面談が上記時間外になる場合もありますが、ご了承ください。
- やむを得ない事情がある場合は、ご相談ください。



ジョイント・コミッション・インターナショナル認証
日本医療機能評価機構認定
地域医療支援病院



日本医療機能評価機構



社会福祉法人 聖隷福祉事業団

総合病院 聖隷浜松病院

〒430-8558 浜松市中区住吉2-12-12 ☎053-474-2222

発行責任者 院長 岡 俊明

ホームページ <http://www.seirei.or.jp/hamamatsu/>

聖隷浜松病院

検索